

11月までの例会と2006年度総会の予定

3月・5月・7月例会は「午前部」を試行

例会選定会議の報告

2月14日に例会選定会議を行い、11月例会までの予定が決まりましたので報告します。

出席者やアンケートなどから約40件の作品を並べ、議論と挙手投票による絞込みを繰り返し、以下の作品を決定しました。「作品の質」、「会員向きの作品か」、「この地域の人が観たことがありそうか」、「制作国やジャンルなど全体的なバランス」、「フィルム使用料など経費」が選定の主要な要素です。

7月例会「ウォルター少年と、夏の休日」(米国)

9月例会「亀も空を飛ぶ」(イラン)

11月例会「カーテンコール」(日本)

参考までに、選定されなかったもので主なものは、日本映画では、「リング・リング・リング」、「いつか読書する日」、「運命じゃない人」、アジア映画では、「故郷の香り」、「マルチュク青春通り」、「あの子を探して」、欧米映画では、「ホテル・ルワンダ」、「リトルランナー」、「クールランニング」、「イノセントボイス 12歳の戦場」、「タッチ・オブ・スパイス」、「ファイティング・テンペーションズ」、「シャンプルー台のむこうに」、「僕はラジオ」、「ディープブルー」、「息子のまなざし」、「Dear フランキー」、「クラッシュ」などでした。

例会のお知らせ

名称 / 第23回例会「ニワトリはハダシだ」

日時 / 3月16日(木) AM10:30～、PM2:00～、PM4:20～、PM6:40～

場所 / 加古川総合文化センター大会議室(JR 東加古川駅から北へ徒歩15分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北へすぐ)

受付/入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。

入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

【例会作品データ】

タイトル / ニワトリはハダシだ

監督 / 森崎東

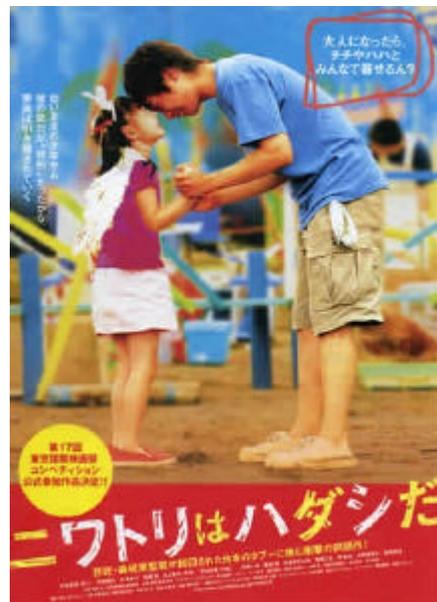
出演 / 肘井美佳、浜上竜也、守山玲愛、原田芳雄、倍賞美津子、加瀬亮、石橋蓮司、余貴美子、岸部一徳、柄本明、笑福亭松之助、塩見三省、李麗仙

データ / 2004年、日本、カラー、1時間54分、16mm、ドラマ、第17回東京国際映画祭最優秀芸術貢献賞受賞

ストーリー / 京都府舞鶴を舞台に、知的障害を持つ少年を主人公に、警察の汚職や在日朝鮮人への差別といった様々な社会問題を絡めて描いた異色のヒューマン・ドラマ。

少年サムは15才。重度の知的障害を持ちながらも人並みはずれた記憶力を持っている。潜水夫のチチ・守とふたり暮らしをしているが、守はサムの将来を案じ、自分と同じ潜水夫の仕事を少しずつ覚えさせようとしていた。サムには在日朝鮮人の八八・チンジャがいるが、守とサムの教育方針について考えが合わないため、サムの妹・チャルこと千春と共に別居をしている。

そんなサムの楽しみは中古車即売場で車の形やナンバープレートを覚えること。ある日サムは偶然にも盗難車のベンツの車中に隠されていた帳簿の中身を丸暗記してしまう。しかしそれが警察の汚職を示す重要証拠だったことからサムは事件のもみ消しを狙う警察、暴力団によって誘拐されてしまう。サムをなんとか救い出そうとサムの両親や養護学校の担任らが事件解決に奔走する。



例会開始時間の試行について

例会の開始時間については、この会ができるときは、午前と午後の2回の計画がありました。しかし、平日開催のため昼間に働いている人に配慮して、午後2回と夜間1回とすることになり、現在に至っています。

今まで、この会の活動を現状のまま続けていくことを前提に、200～250人の会員数を目標として入会を呼びかけてきました。その中で、主婦層を中心に入会いただくには、午前の時間帯が必要であるという強い意見が出ています。

そこで、3月から9月まで(場合によっては延長します)の例会では、午前の部を試行することとなりました。

日に4回の映写となると、フィルム使用料、会場費、スタッフの負担がたいへん大きくなり、会員数が300人近くにならないと継続することができません。したがって、この試行期間のようすをみて、開始時間は、以下のいずれかにせざるを得ない状況ですので、会員の皆さんにはあらかじめご理解をお願いいたします。

〔会員数200人前後の場合の案〕

第 案 14:00、16:20、18:40(現状のまま)

第 案 10:30、14:00、16:20

〔会員数220人前後の場合の追加案〕

第 案 10:30、14:00、18:40

〔会員数250人を大きく超える場合の追加案〕

第 案 10:30、14:00、16:20、18:40

(時間と会員数はいずれも目安です)

また、会員数が200人を割り込んだ状態が続けば、この会の活動の大きな削減見直しが必要です。

上映会のお知らせ

加古川で行われる以下の映画上映会に共催することになりました。

作品名 / **手紙** (2002年、日本、106分)

監督 / 松尾昭典

出演 / 古谷一行、風吹ジュン、小林桂樹、
神部冬馬、丸山秀美、長門裕之、
菅井きん、辰巳琢郎、矢崎滋

日時 / 3月23日(木) 10:30～、14:00～

場所 / 加古川総合文化センター

料金 / 1,200円(加古川シネマクラブ会員は800円)

の割引料金)

その他 / 兵庫県映画センター主催の上映会で、加古川市での上映会に共催するものです。

定例総会開催のお知らせ

加古川シネマクラブでは、2006年度の定例総会を下記のとおり開催いたします。1年間の基本活動を決定する会議ですので、会員の皆さまには、ご出席いただきますようお願いいたします。

- 1 名称 2006年度加古川シネマクラブ定例総会
- 2 日時 4月28日(金)午後7時から 約30分間
- 3 場所 加古川総合文化センター 会議室2
- 4 内容 2005年度事業報告に関する事
2005年度決算に関する事
2006年度役員を選任に関する事
2006年度事業計画に関する事
2006年度予算に関する事
- 5 参加方法 直接会場にお集まりください。
- 6 その他 総会の前後の時間を使って、発送作業など5月例会の準備を行います。

当日に出席できない方は、委任状(書面であれば形式を問いません)を提出することによって、出席する会員に議決等を委任することができます。

前回例会の報告

1月24日の例会では、「コーラス」を鑑賞しました。参加会員155人。

フランス映画らしく人間の多様性もほどよく描かれていましたし、まとまった美しい作品だったと思います。全体に素直な調子だったところはフランス映画らしくなかったのですが、そこが良かった。

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200～300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

(第1版の例会選定会議の記事で、一部作品がフィルム準備の都合で変更になっています)

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/cinemaclub>

会員数202人(1月31日現在)